

土砂防だより



新雪旭光に染まる（十里木）

年頭の御挨拶	2
2015年しずおかの砂防10大ニュース	
平成28年度 政府予算案閣議決定	3
全国治水砂防促進大会及び支部要望活動	4
鹿児島県の砂防関係事業等視察	5
市町等砂防担当職員研修	6
平成27年土砂災害の発生状況	7
(一社)全国治水砂防協会 理事・顧問会議	8
東海地区砂防協会 支部長・砂防課長 合同会議	
危険な箇所数の見直し	9
土砂災害防止講習会の開催	10
わがまち(熱海市・島田市)	11
インフォメーション	12
お知らせ	16



平成28年度 政府予算案閣議決定



全国治水砂防促進大会
及び支部要望活動

鹿児島県の砂防関係事業等視察
市町等砂防担当職員研修



平成27年 土砂災害の発生状況

全国治水砂防協会静岡県支部

年頭の御挨拶



全国治水砂防協会静岡県支部
支部長 原田 英之

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から当支部の活動に対しまして、御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、全国で788件の土砂災害が発生し、残念ながら2名の尊い命が犠牲となっております。特に、鬼怒川の河川氾濫等甚大な被害をもたらした9月の台風18号等による豪雨では、土石流やがけ崩れが多発し、栃木県などで177件の土砂災害が発生しております。

本県においては、幸いなことに人的被害は無かったものの、土砂災害の発生件数は例年よりも多い69件で、いずれもがけ崩れでありました。特に、9月の台風18号では、浜松市を中心に36件の土砂災害が発生しています。これらの土砂災害では、県の整備した防災施設により人家等への土砂被害を防止した事例が多くありました。現在、県等により、交付金事業等により早期の災害復旧・安全対策が進められています。

土砂災害防止には、土砂災害防止施設の整備の推進とともに、土砂災害警戒区域の指定を促進し、早期に住民に土砂災害の危険性を認識していただくことが重要です。県では、平成26年8月に広島県で発生した土砂災害を受け、新たに最新の電子地形図を使い地形と住宅配置を分析し、昨年8月に危険箇所の新規抽出結果を公表しており、この結果を踏まえて平成31年度を目途に区域の指定を進めていく方針で、一層の取組みが期待されます。

また、土砂災害に対する適切な避難場所・避難経路を定め、避難勧告等の判断基準として土砂災害警戒情報を明確に位置づけるなど、市町地域防災計画に反映することも必要となります。これら、自治体や住民が的確に避難判断できる仕組みづくりには、国・県・市町が、住民と連携し取り組んでいくことが必要であります。

今年も「土砂災害による死者数0人」を目指し、砂防関係事業の普及・発展に努めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年は無事な年であるよう祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

2015年しずおかの砂防 10 大ニュース

平成27年の土砂災害と台風18号

平成27年の土砂災害は69件。このうち9月7～9日に本県に襲った台風18号では、36件の土砂災害が発生しました。また、土砂災害警戒情報を13市町(13地区)に発表しました。

「土砂災害防止に関する絵画・作文」コンクールで、事務次官賞等を受賞

2月2日、「土砂災害防止に関する絵画・作文」コンクールで、静岡市立清水庵原中学校の高橋さんが事務次官賞を受賞しました。3月26日に県知事賞他4作品と併せて表彰式を実施しました。

静岡県支部第70回通常総会開催！

5月26日、静岡市内において静岡県支部第70回通常総会を、川勝知事、吉川県議会議長、西山砂防計画課長(当時)、(一社)全国治水砂防協会南技術顧問(当時)の御出席のもと開催しました。





平成28年度 政府予算案閣議決定

平成27年12月24日(木)、平成28年度政府予算案が閣議決定されました。国土交通省の行政経費等を含む予算額は、国費ベースで対前年度比1.00の約5兆7,777億円です。予算のポイントの内、砂防関係事業に関するものを示します。

平成28年度 国土交通省関係予算総括表(国費) (単位:百万円)

事 項	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	対前年度 (A/B)
治 水 (砂防関係直轄事業を含む)	780,342	779,210	1.00
社 会 資 本 総 合 整 備 うち 防 災 ・ 安 全 交 付 金	1,998,566 1,100,234	1,996,554 1,094,749	1.00 1.01
そ の 他 (道 路 ・ 港 湾 等)	2,997,784	3,012,946	0.99
国土交通省関係予算国費 合計	5,776,692	5,788,710	1.00

砂防関係事業における主要項目

1. 気候変動に備えるための水害・土砂災害対策や火山災害対策の推進
2. 大規模水害の被害想定との共有とICT等の情報ソフトインフラの整備による防災・減災対策の推進
3. 南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策等の推進
4. 火山、地震、津波、台風、集中豪雨等に対する観測・監視体制等の強化
5. インフラ老朽化対策等のための戦略的な維持管理・更新の推進
6. 地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援 (防災・安全交付金)

砂防関係事業の新規制度

- 火山噴火緊急減災対策事業の創設

※計数は、整理の結果移動することがある。

<p>(一社)全国治水砂防協会第79回通常総会開催! 5月28日、砂防会館において第79回通常総会が開催され、当支部からは支部長の原田袋井市長をはじめ10名の会員に御出席いただきました。</p>	<p>危険箇所の追加抽出箇所を公表</p>
<p>市町長等県外視察で鹿児島県を視察</p>	<p>市町等砂防担当職員研修を開催! 土砂災害警戒情報等情報収集の演習を実施</p>
<p>(一社)全国治水砂防協会理事・顧問会議を静岡市で開催</p>	<p>番 外</p>
<p>東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議を掛川市で開催</p>	
<p>全国治水砂防促進大会が開催される。県選出国會議員に要望書を提出</p>	<p>鹿児島県口永良部島・桜島、熊本県阿蘇山、神奈川県箱根山など、各地で火山噴火</p>

※順番、枠の大小、写真の有無などについては、ニュースの大小を表していません。

全国治水砂防促進大会 及び支部要望活動

11月26日(木)に、全国治水砂防促進大会が砂防会館で開催されました。

全国から879名が参加し、当協会からも10名のご出席をいただきました。大会に先立ち、尾崎正直高知県知事から「土砂災害から県民の命を守る高知県」と題した特別講演が行われました。

大会は、綿貫会長の挨拶に始まり、石井啓一国土交通大臣からの祝辞に続き、国土交通省西山幸治砂防部長から「これからの砂防行政」と題した講演をいただいた後、会員代表として、兵庫県辻重五郎丹波市長と長野県宮川正光南木曾町長から意見発表が行われました。

次に、宮城県蔵王町長である村上英人副会長から大会提言について説明がなされました。

最後に大会提言は満場一致で採択されました。

大会終了後、地元選出国會議員及び国土交通省へ、平成28年度予算確保に向けて要望活動を行いました。

お忙しい中、ご出席いただきました会員の皆様には心より御礼申し上げます。



尾崎高知県知事の特別講演



綿貫会長の挨拶



石井大臣の祝辞



西山砂防部長の講演



促進大会の状況

参加市町

袋井市、伊豆市、森町、河津町、東伊豆町、西伊豆町、
富士宮市、伊豆の国市
(8市町/35市町) ※太字は本人参加

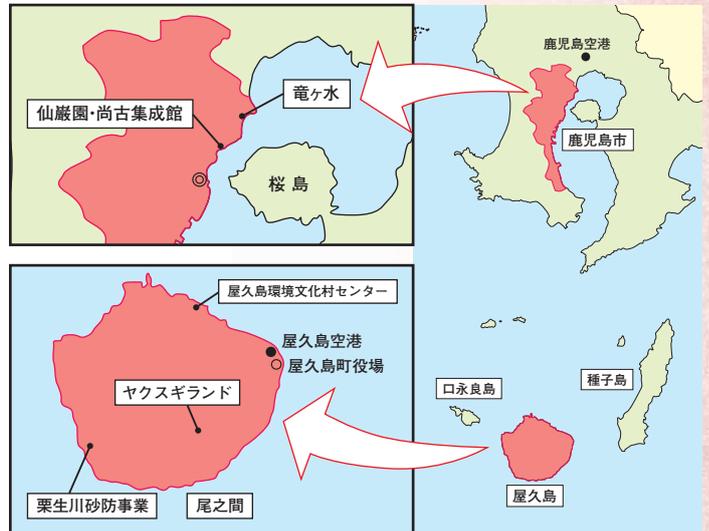
鹿児島県の砂防関係事業等視察

8月27日(木)から29日(土)に、「世界遺産と砂防の係わり」をテーマに、世界自然遺産「屋久島」を含む鹿児島県の砂防関係事業先進地を訪れ、土砂災害や火山噴火について現場視察及び意見交換を行いました。

今回の視察は、鹿児島県砂防課、屋久島事務所、屋久島町の協力を得て実施したもので、原田支部長(袋井市長)を団長に、事務局も含め26名が参加しました。

この視察は、当協会が毎年実施している事業で、会員(市町長)が砂防関係事業を視察し、生きた教訓により土砂災害に関する見識を広め、砂防事業の周知・普及を図ろうとするものです。

屋久島町長と、5月の口永良部島噴火とそれに伴う全島避難等について意見交換をするとともに、鹿児島県より、栗生川砂防事業及び平成5年に発生した鹿児島市竜ヶ水の大規模土砂災害現場の説明を受けました。本県の土砂災害対策や火山防災対策の取り組みに大いに参考となりました。



栗生川砂防事業視察



屋久島町役場にて



竜ヶ水土砂災害現場視察

日程

8月27日(木)

- ・「屋久島環境文化村センター」視察

8月28日(金)

- ・栗生川砂防事業視察
鹿児島県熊毛支庁屋久島事務所より、事業の紹介
- ・「ヤクスギランド」において、屋久杉等視察
- ・屋久島町役場において
屋久島町長より口永良部島火山噴火・避難状況の説明及び意見交換
- ・鹿児島市竜ヶ水土砂災害現場視察
鹿児島県砂防課より、被害状況及び事業の紹介

8月29日(土)

- ・世界文化遺産「仙巖園・尚古集成館」視察
- ・「土砂災害・火山災害」のDVD視聴

参加市町

袋井市、森町、河津町、浜松市、焼津市、東伊豆町、小山町、沼津市、島田市、菊川市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、川根本町、伊豆市、牧之原市、西伊豆町、交通基盤部長、島田・袋井・浜松土木事務所、事務局 (17市町/35市町) ※太字は本人参加

市町等砂防担当職員研修

12月16日(水)、県内市町の砂防・防災担当職員および県土木事務所職員を対象とした、砂防事業に関する知識・技術の習得および向上に資するための研修会を静岡県建設技術監理センター(静岡市)で開催し、21名の方にご参加いただきました。

静岡県支部常任幹事の後藤森平技監の挨拶の後、砂防課村松武馬課長代理より「土砂災害全般について」、危機政策課板坂孝司主幹より「警戒避難体制について」、砂防課小田匠技師より「土砂災害警戒情報等情報収集演習」と題して、講演を行いました。

参加者からは、「避難行動の原則や考え方、避難準備情報や避難勧告等の意義を再確認することができ、とても参考になった。」「砂防課が使用しているメッシュ情報やGIS等を市町でもしっかり扱えるよう復習したいと思います。」など、多くの貴重な意見や感想が寄せられました。



研修会の様子

参加市町等

《市 町》 静岡市、浜松市、沼津市、三島市、富士市、磐田市、掛川市、藤枝市、袋井市、裾野市、伊豆の国市、東伊豆町、南伊豆町、函南町、長泉町、小山町、川根本町

《土木事務所》 沼津土木事務所、静岡土木事務所



板坂主幹の講演

参加者の声

- ・動画が非常にためになった。
- ・情報収集のためのサイトを今後活用したい。
- ・時間が長いが内容は良かった。
- ・実際にパソコンを使用した演習を行えて良かった。
- ・対策工事箇所の現場研修を希望したい。
- ・基本的なことが学べ、勉強になった。
- ・市民にもっと周知していけたら良いと思う。
- ・高齢者等、インターネットを使えない人への対応が今後の課題と感じた。
- ・土木だけでなく、危機管理の職員を研修対象にするべきと感じた。

土砂災害の発生状況

土砂災害は、降雨や地震などにより突然発生し、尊い生命や貴重な財産を一瞬にして奪い、地域に深刻な打撃をもたらします。

土砂災害は全国各地で毎年発生し、過去10年間で平均1,000件、県内においても年平均約50件も発生しています。

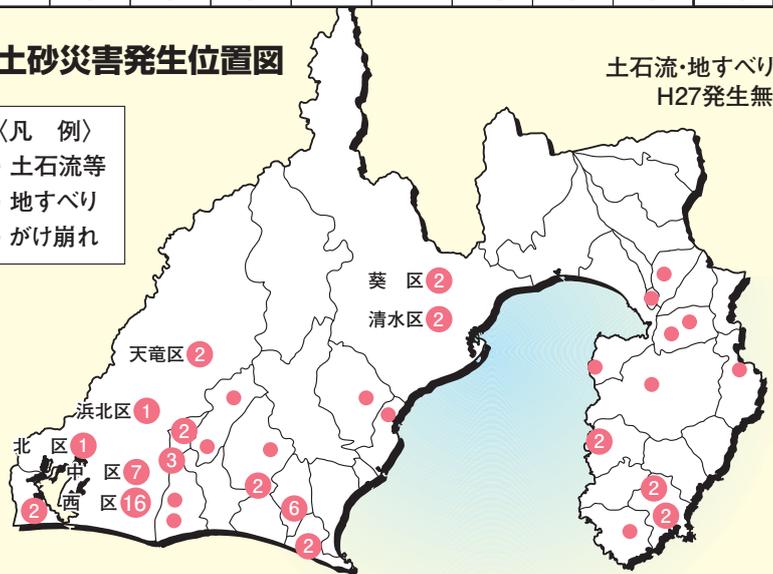
平成27年は、県内で69件の土砂災害が発生し、そのうち9月7日～9日の台風18号により36件の災害が発生しました。このうち13件では既設の擁壁等が土砂や倒木を食い止め、人家への被害を未然に防止し、地域への安全に貢献しました。

平成27年 土砂災害の発生状況(国交省所管)

種別	年次	平成27年														静岡県 計
	発生日	3月2日	3月3日	3月20日	4月20日	5月12日	7月3日 ～11日	7月16日 ～17日	8月13日	8月26日 ・27日	9月2日	9月3日	9月7日 ～9日	9月18日	12月11日 ～12日	
	原因	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	台風6号	豪雨	台風11号	豪雨	豪雨	豪雨	豪雨	台風18号	豪雨	豪雨	
土石流等	発生件数															0
地すべり	発生件数															0
がけ崩れ	発生件数	1	1	1	2	1	14	2	1	2	3	2	36	1	2	69
	計	1	1	1	2	1	14	2	1	2	3	2	36	1	2	69
	内施設効果あり	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1	8	0	0	13

土砂災害発生位置図

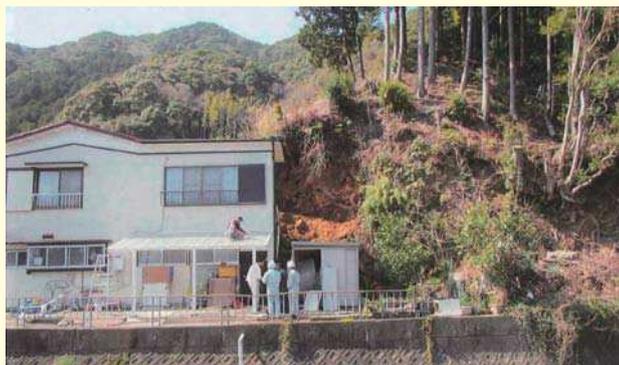
- 〈凡例〉
- 土石流等
 - 地すべり
 - がけ崩れ



土石流・地すべり
H27発生無



がけ崩れから
人家を守った急傾斜施設
(浜松市西区白洲町)



人家裏のがけ崩れ状況(下田市立野)



人家裏のがけ崩れ状況(伊豆市大平柿木)

(一社)全国治水砂防協会 理事・顧問会議が開催される

10月29日(木)から30日(金)に、(一社)全国治水砂防協会の理事・顧問会が日本平ホテル(静岡市)で開催されました。この会議は従来砂防会館で実施されていましたが、平成25年度から現場視察を兼ねて各県で実施されています。白馬村、日光市に続き、本年度は静岡市で実施されました。

綿貫会長外17名の理事・顧問の方に御出席いただき、日本3大崩れの1つである『大谷崩』や、ここから流れ出た土砂により形成された富士山世界文化遺産の構成資産『三保の松原』等の視察が行われました。



大谷崩にて



三保海岸の海岸事業(L型突堤)の説明

日程

10月29日(木)

- 『大谷崩』視察
国土交通省静岡河川事務所より事業の説明
- 会議

10月30日(金)

- 富士山世界文化遺産構成資産『三保の松原』視察
静岡土木事務所より海岸事業の説明
- 大谷崩300年記念事業記念碑の視察
静岡県支部より記念碑の説明



大谷崩300年記念事業記念碑(三保の松原)にて

平成27年度 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議を開催

11月16日(月)、平成27年度東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議を「掛川グランドホテル」(掛川市)で開催しました。会議には、国土交通省砂防部酒谷砂防施設評価分析官、全国治水砂防協会岡本理事長を来賓に向かえ、東海地区の各支部長、砂防課長が出席されました。酒谷砂防施設評価分析官からは『土砂災害を防ぎ命とくらしを守る』、岡本理事長からは『土砂災害から人命を守るために！(広島災害等を教訓に)』と題した話題提供をいただくとともに、土砂災害防止対策の現状と課題について、各支部長との熱心な意見交換が行われ、大変有意義な会議となりました。

日程

12:40~15:20

- 浜岡原子力館(原子力発電所津波防波壁等)視察
- 東組急傾斜地崩壊対策事業(菊川市)等視察

15:30~17:15

- 会議



浜岡原子力館視察



会議状況(酒谷砂防施設評価分析官の話題提供)

危険な箇所数の見直し

1 概要

土砂災害危険箇所については、大雨等による土砂災害の発生の恐れがあるときに、住民の早めの避難を促すため、インターネットによる地理情報システムや市町の作成するハザードマップ等で周知を行っております。危険箇所は、平成15年3月に公表しましたが、平成26年8月に発生した広島豪雨を受け、前回の公表以降、地形改変や住宅の立地などの状況変化が想定されたため、危険箇所の新規抽出を行い、平成27年8月に公表しました。

新規抽出の方法は、国土地理院の1/25,000の地形図を使用し、地形と住宅配置を分析し、がけ崩れ等が発生した際に、住宅への被害が予想される箇所を抽出しました。今回の抽出では、デジタル化された図面を使用したことから、地形の勾配や高さの判読、建物の識別などが前回調査と比較し容易となり、また、精度も向上しました。新規抽出結果の位置図は、各土木事務所のホームページに掲載しています。

公表した箇所は、土砂災害が及ぶと予想される概略の範囲を示したもので、今後、基礎調査を実施し、土砂災害警戒区域を指定することにより、詳細な範囲の確定を行っていきます。

2 県内の土砂災害危険箇所の新規抽出結果

前回公表数15,193箇所から3,388箇所増加し、合計で18,581箇所になりました。

市町別土砂災害危険箇所数一覧表

(単位：箇所数)

市町名	前回公表危険箇所(A)				今回公表危険箇所(B)				増減(B-A)			
	土石流	急傾斜地	地すべり	合計	土石流	急傾斜地	地すべり	合計	土石流	急傾斜地	地すべり	合計
下田市	235	311		546	261	348		609	26	37		63
東伊豆町	23	56	6	85	32	65	8	105	9	9	2	20
河津町	92	112	5	209	110	131	5	246	18	19		37
南伊豆町	252	245	1	498	298	277	1	576	46	32		78
松崎町	92	128	1	221	107	144	1	252	15	16		31
西伊豆町	86	116	1	203	93	137	1	231	7	21		28
下田土木管内	780	968	14	1,762	901	1,102	16	2,019	121	134	2	257
熱海市	98	167	1	266	105	189	1	295	7	22		29
伊東市	105	216	2	323	105	248	2	355		32		32
熱海土木管内	203	383	3	589	210	437	3	650	7	54		61
沼津市	116	169		285	129	253		382	13	84		97
三島市	23	82		105	21	102		123	▲2	20		18
御殿場市	30	7		37	30	21		51		14		14
裾野市	44	38		82	53	61		114	9	23		32
伊豆市	480	371	8	859	586	590	12	1,188	106	219	4	329
伊豆の国市	103	198	1	302	143	314	2	459	40	116	1	157
函南町	32	74	1	107	37	105	1	143	5	31		36
清水町	2	16		18	2	16		18				
長泉町	2	29		31	2	32		34		3		3
小山市	47	61		108	47	82		129		21		21
沼津土木管内	879	1,045	10	1,934	1,050	1,576	15	2,641	171	531	5	707
富士宮市	107	275	1	383	109	293	2	404	2	18	1	21
富士市	57	168	1	226	54	175	2	231	▲3	7	1	5
富士土木管内	164	443	2	609	163	468	4	635	▲1	25	2	26
静岡市	919	1,783	11	2,713	1,021	2,039	32	3,092	102	256	21	379
静岡土木管内	919	1,783	11	2,713	1,021	2,039	32	3,092	102	256	21	379
島田市	198	493	26	717	240	545	46	831	42	52	20	114
焼津市	24	48	1	73	33	61	1	95	9	13		22
藤枝市	205	446	27	678	236	511	38	785	31	65	11	107
牧之原市	44	320	2	366	41	421	5	467	▲3	101	3	101
吉田町		6		6		13		13		7		7
川根本町	42	143		185	59	198	10	267	17	55	10	82
島田土木管内	513	1,456	56	2,025	609	1,749	100	2,458	96	293	44	433
磐田市	66	211		277	97	254		351	31	43		74
掛川市	134	881	11	1,026	282	1,119	25	1,426	148	238	14	400
袋井市	32	220		252	50	292		342	18	72		90
御前崎市	12	324		336	16	353	1	370	4	29	1	34
菊川市	44	423		467	92	625	4	721	48	202	4	254
森町	59	364	5	428	93	463	17	573	34	99	12	145
袋井土木管内	347	2,423	16	2,786	630	3,106	47	3,783	283	683	31	997
浜松市	440	2,081	71	2,592	574	2,355	137	3,066	134	274	66	474
湖西市	2	181		183	5	232		237	3	51		54
浜松土木管内	442	2,262	71	2,775	579	2,587	137	3,303	137	325	66	528
合計	4,247	10,763	183	15,193	5,163	13,064	354	18,581	916	2,301	171	3,388

3 今後の対応

今回の調査結果を踏まえ、新規抽出箇所を含めた18,581箇所を対象に、土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、平成31年度を目途に、土砂災害警戒区域等を順次指定を進めていきます。

また、市町や県民に対し、避難の参考となる情報として周知に努めていきます。

「土砂災害防止講習会」の開催

土砂災害による人的被害を未然に防止するためには、日頃からの危険箇所の監視・点検や、地域住民への防災知識の普及を目的とした広報活動等が重要です。

静岡県では広報活動として、地域住民及び自主防災組織の方々を対象とし、地域の自主防災組織の会合等に職員を派遣する「土砂災害防止講習会」を実施しています。また、小中学生を対象とし、防災教育の一環として、授業時間を活用した「土砂災害出前講座」を実施しています。

平成27年度は、昨年発生した広島土砂災害などの土砂災害の影響もあり、県民の方々の土砂災害への関心が高まっているように感じられました。その結果、例年より多くの講習会・出前講座を実施し、参加した方から「自分の住んでいる所や周辺にある土砂災害の恐れがあるところを確認する」、「いざという時に早めの避難をするように心掛ける」等の声が寄せられました。

今後も土砂災害防止に関する知識の普及のために、積極的な広報活動を行っていききたいと思います。



出前講座の様子(下田土木事務所：南伊豆町立東小学校)



夏加沢工事現場見学の様子(熱海土木事務所：熱海市)



講習会の様子(島田土木事務所：川根本町)

■ H25～H27（12月31日現在）講習会、出前講座実施回数

	H25	H26	H27 (12月31日現在)
講習会実施回数（受講者数）	22回（2,248名）	42回（2,936名）	44回（2,770名）
出前講座実施回数（受講者数）	9回（343名）	5回（112名）	5回（261名）

熱海市

都市整備課

熱海市は、伊豆半島の東の付け根に位置し神奈川県境に接しています。沖合には、県内唯一の有人離島である初島があります。

相模湾に面する熱海港では、初島及び伊豆大島への定期船が就航しており、大型クルーズ客船「にっぽん丸」も度々入港しているなど、海の玄関口としてもたくさんのお客様をお迎えしています。また、熱海湾では一年を通し海上花火大会が開催されており、多くの来場者で賑わっています。

豊富な温泉資源や温暖な気候と風光明媚な自然景観を有する本市は、明治以降、多くの文人墨客に愛されてきました。その後東海道線の熱海乗り入れ、丹那トンネルの開通、そして東海道新幹線の開通により、それまでの保養を目的とする湯治場から団体客中心の温泉観光地へと大きく変貌し、急速に発展をしてきました。宿泊客数、人口とも昭和40年代にはピークを迎えますが、それ以降、旅行形態の変化やバブル経済崩壊などの影響により減少を続けてきました。そのような中で、近年の景気回復基調を受け、さらにメディア戦略が功を奏し、観光交流客数や宿泊者数については回復傾向にあります。

海に面し三方を山に囲まれた本市は、豊かな自然環境と景観を有する一方で、災害時の津波や土砂災害の危険性を抱えており、わずか61.61km²の市域の中には土砂災害危険箇所が295箇所にも及んでいます。今後も市民が安心して暮らせる環境づくりに関係各位のご支援、ご協力をお願いいたします。



大型クルーズ客船「にっぽん丸」の入港



熱海海上花火大会

島田市

建設課

島田市は、静岡県のほぼ中央に位置し、大井川を軸とした自然に恵まれた環境の中で、日本の四季を感じながら観光やイベントを楽しむことができます。

東海道随一の難所として知られた大井川流域には、世界一長い木造歩道橋としてギネスに認定された蓬莱橋をはじめ、雄大な大井川と鮮やかな茶畑の中を走り抜けるSL列車や、SL列車の汽笛を聞きながら露天風呂や温水プールが楽しめる川根温泉など、島田市の豊かな自然や歴史、文化を堪能できる観光スポットが数多くあります。

また、大井川の河川敷は、スポーツやレクリエーション等の憩いの場として広く市民に活用されています。毎年10月に開催



牧之原台地と富士山



しまだ大井川マラソンinリハバティ

される「しまだ大井川マラソンinリハバティ」は、全国初の河川敷マラソンコースとして年々盛り上がりを見せるとともに、「全国ランニング大会100撰」に第1回から連続して選ばれるほど高い評価を受けております。

さらに、今年は、日本三奇祭のひとつである「島田大祭(帯祭り)」をはじめ、「島田鬃まつり」、「金谷茶まつり」が開催され、島田市の伝統、文化を感じられるお祭りが数多く見ることができるようになっていますので、ぜひ、お越しください。

事業評価監視委員会が開催される

9月18日(金)に、平成27年度第3回静岡県事業評価監視委員会(第1回：8月17日、第2回：8月21日)が県庁で開催されました。砂防関係事業では、事後評価で通常砂防事業の「黒俣沢奥沢(掛川市)」が審議され、「改善措置の必要性は特に認められない。」との意見がとりまとめられました。また、再評価では急傾斜地崩壊対策事業の「金山(伊豆市)」、「長沼五郎松(静岡市)」の2件と砂防事業の「冥加沢(熱海市)」が審議され、「いずれも事業を継続するのが相当である」との意見がとりまとめられました。

平成28年度は、再評価で17件(砂防7件、地すべり2件、急傾斜8件)、事後評価で1件(砂防1件)が対象となる予定です。

日本地すべり学会中部支部現地見学会・現地検討会が開催される

10月1日(木)・2日(金)に、日本地すべり学会中部支部現地見学会・現地検討会が門島地区(浜松市天竜区春野町杉)及び県浜松総合庁舎で開催されました。土屋静岡大学教授、林三重大学名誉教授をはじめ、地すべり調査や地すべり防止工事に携わる、県、コンサルタント、施工業者等の39名が参加しました。1日の現地見学会は、平成25年4月の大崩壊発生から2年5か月が経過した現地で、当時の緊急対策や対策工の実施状況を確認し、2日の現地検討会では、林名誉教授の講演会に続き、県・コンサルタント・施工業者のそれぞれから、初期対応や調査・工事実施における体験談等の意見交換を行い、大変有意義な検討会となりました。



県職員による対策工の説明

富士山大沢崩れ 源頭部工事現場を見学しました

10月13日(火)に、国土交通省富士砂防事務所が対策を行っている富士山大沢崩れ源頭部(富士宮市)の現場見学を富士砂防事務所の協力のもと、砂防課、富士土木事務所職員6名で行いました。

現場は、標高も高く資材搬入路の確保ができないため、飛行能力の高いヘリコプターでも静温な状態でなければ運搬設置できません。作業員は、現場まで片道2.5km(1時間以上)を徒歩で通勤しているとのことでした。

現場見学では標高2,300m付近の大沢休泊所から崩壊状況を確認し、その後谷底に入り横工や法面工等の対策工の現場を回り、施工環境の厳しさを改めて実感しました。



崩壊地と対策工

「第47回(公社)砂防学会シンポジウム～人口減少時代における土砂災害の減災～」が開催される

10月14日(水)・15日(木)に、第47回(公社)砂防学会シンポジウムがアスト津(三重県津市)ほかで開催されました。

シンポジウムでは、人口減少と高齢者化が予想される時代において土砂災害の減災対策にどのように取り組んでいくかという趣旨に基づき、国土審議会・地元首長の講演、砂防関係の研究者等によるパネルディスカッションを通して、近年に発生した土砂災害への対応や砂防事業の効果的な進め方等について講演いただきました。

藤原岳小滝川流域の土石流対策の現地見学会(いなべ市)では、三重県から遊砂池等の対策施設の整備状況、地元自治会長から独自の警戒避難体制の取組を説明いただきました。



小谷川遊砂池の概要説明を受ける参加者(三重県いなべ市)

「ジオフォーラム2015 in 静岡～リスクのある地形・地質を知ることが事業効率を上げることに寄与しているだろうか?～」が開催される

10月23日(金)に、「ジオフォーラム2015 in 静岡」がグランシップ(静岡市)で開催されました。

リスクのある地形・地質を事前に正確に把握することによって、工事の手戻りを回避し事業効率を上げることに寄与できるという趣旨に基づき、県内の行政及び民間調査業者による技術発表と全国地質調査業協会連合会による特別講演を通して、設計段階における地形・地質調査の重要性と、工事段階における地質条件に応じた適時適切な設計変更の必要性を講演いただき、活発な質疑応答が行われました。



技術発表の様子

2015 火山砂防フォーラムが開催される

10月29日(木)・30日(金)に、「2015 火山砂防フォーラム」が、阿蘇体育館(熊本県阿蘇市)で開催されました。今回のフォーラムでは、阿蘇山や箱根山等の火山地域の観光地の問題となっている噴火時の風評被害についての話題が中心となりました。また、阿蘇山の麓に暮らす阿蘇市立一の宮中学校、熊本県立阿蘇中央高校の生徒が、阿蘇山との共生をテーマとする学習に取り組み、その成果について発表がありました。

パネルディスカッションでは、「地域一体で火山噴火に備えるためには」と題し、「防災力の向上」、「噴火後の課題」を中心に火山の有識者等が議論を交わしました。

現場見学では、阿蘇山をはじめ、平成24年度に甚大な被害のあった九州北部豪雨により土石流災害のあった現場等を回り、火山災害の対応の難しさ、土石流災害の迅速な対応の必要性を実感しました。



火山砂防フォーラムの様子

JICA課題別研修「土砂災害防止マネジメント」が開催

11月4日(水)に、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する、課題別研修「土砂災害防止マネジメント(豪雨、地震、火山噴火起因)」が、静岡県地震防災センター(静岡市)で開催されました。砂防課職員が、海外の研修員16名(アルメニア、ブラジル、マレーシア等、計11カ国)に、本県における土砂災害防止法による警戒区域の指定の実務等について講義を行いました。

また、センターの職員から東海地震のメカニズムの説明を受けたり、センター内の施設で地震の揺れを実際に体験しました。



研修員との記念撮影

東海地区土砂災害防止法担当者会議を開催

11月13日(金)に、東海地区土砂災害防止法担当者会議が、松阪シティホテル(三重県松阪市)で開催されました。各県の土砂災害防止法担当者が集まり、各県の警戒区域の指定状況や警戒避難体制の整備に関する各県の取り組みなどを情報共有しました。会議の議題は、今後の各県の業務の参考となるものでした。

東海地区砂防担当者会議が開催される

11月19日(木)・20日(金)に、東海4県の砂防担当者会議を西伊豆町役場で開催しました。国土交通省からは砂防計画課今村火山対策係長、保全課土屋総合土砂管理係長が参加され、19日の会議では改正される活動火山対策特別措置法についての説明や平成27年の会計検査院国会報告を踏まえた今後の対応などについて活発な意見交換が行われました。20日には平成25年に西伊豆町で土石流が発生し、現在交付金で砂防事業を実施している「仏沢川」や世界文化遺産「韮山反射炉」周辺で実施している砂防事業の現場見学が行われました。



仏沢川砂防事業の現場見学



東海地区地すべり・急傾斜地担当者会議が開催される

11月9日(月)・10日(火)に、東海4県の担当者による東海地区地すべり・急傾斜地担当者会議が、高山市役所(岐阜県高山市)で開催されました。

9日の会議では、急傾斜・地すべり対策における各県が抱えている疑問等の活発な意見交換が行われ、また、10日の現場研修では、雪崩対策事業や急傾斜地崩壊防止施設緊急改築事業を予定している現場などを見学し、大変有意義な会議となりました。



現場研修の状況 急傾斜地崩壊対策事業
(岐阜県飛騨市河合町角川 池田地区)

東海地区直轄砂防事務所長・砂防主管課長会議の開催

11月18日(水)に、「平成27年度東海地区直轄砂防事務所長・砂防主管課長会議」が、アイリス愛知(愛知県名古屋市)で開催されました。

愛知県建設部丹羽砂防課長の挨拶の後、議事が始まりました。国土交通省砂防部伊藤保全調整官から、日光市の土石流災害、箱根、阿蘇山の噴火などにおける国の対応や、会計検査院報告など、最新の状況の報告があった。また、土砂災害防止法改正後の取組、砂防関連施設の維持管理について、活発な議論が行われました。

「中部ブロック土砂災害防止推進会議幹事第2回現地研修会」が開催される

12月1日(火)・2日(水)に、中部ブロック土砂災害防止推進会議幹事第2回現地研修会が広島市内及び神戸市内で開催され、東海4県砂防主管課の担当者が出席しました。

広島市内では、平成26年8月20日の集中豪雨に伴い同時多発的に発生した土砂災害の被災地の復旧工事を見学後、国・県・市から再度被災の未然防止に向けた関係部局の連携した取組を説明いただきました。神戸市内では、砂防施設整備の促進と斜面の保全を目的として実施される六甲山系グリーンベルト整備事業について、国から対策施設の整備状況や官民が連携した樹林管理の取組を説明いただきました。



土石流被災地の復旧工事現場(広島市安佐南区)

治山・砂防事業推進議員連盟が砂防関係事業を視察

12月2日(水)に、水と豊かな生活環境の創造と安心して暮せる社会基盤の整備を目標に、砂防関係事業の推進を目指す「静岡県議会治山・砂防事業推進議員連盟」の視察を静岡市葵区・清水区内で行いました。

今回の視察には会員68名のうち34名の御参加をいただき、保全対象として人家20戸を含む葵区長沼地区の急傾斜事業、要配慮者利用施設等を保全する葵区長尾地区の砂防事業、平成26年に清水区興津東町で山腹崩壊した箇所等を視察されました。

議員の皆様が熱心に現場の状況を見ていただき、土砂災害対策や国土強靱化等に関する質問が多く出されるなど、土砂災害対策等の重要性について再認識していただきました。



「長沼地区(急傾斜)」工事現場にて



「長尾地区(砂防)」工事現場にて

出席者名簿		
氏名		会派
杉山 盛雄		自民改革会議
小野 達也		
鳥澤 由克		
森 竹治郎		
藤曲 敬宏		
土屋 源由		
仁科 喜世志		
和田 篤夫		
鈴木 澄美		
木内 満誠		
山田 摂治		
相坂 茂人		
佐地 塚本 大		
良知 淳行		
落合 慎悟		
河原崎 聖		
宮城 也寸志		
東堂 陽一		
渡瀬 典幸		
江間 治人		
野崎 正和		
小楠 和男		
鈴木 利幸		
渥美 泰一		
小長井 由雄		ふじのくに 県民クラブ
高田 泰久		
鈴木 智通		
中澤 通訓		
前林 孝一		公明党 静岡県議団
高田 好浩		
盛月 寿美		
諸田 洋之		無所属の会・ 責任世代
大石 裕之		

※議連役員・選挙区順

富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画(基本編)を公表

12月24日(木)に、「第5回富士山火山噴火緊急減災対策検討会」が、県東部総合庁舎で開催されました。この中で、「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画(基本編)」(以下「基本編」という)を関係機関に説明を行い公表しました。

「基本編」は国土交通省富士砂防事務所、山梨県、静岡県の3者で火山噴火に対する緊急的なハード・ソフト対策の実施項目等の基本方針を、学識経験者、行政関係者で構成している富士山火山砂防計画検討委員会において審議し、了解して頂いたものです。

「基本編」を受け、関係機関と連携し、「対策編」を策定していきます。具体的には「基本編」の対策方針に基づいて対応を取りまとめ、①施設配置計画、②必要資機材、③役割分担、④情報共有・連絡調整体制等について、対策予定箇所毎に整理した上で、実施体制を検討する予定です。



会議の様子

平成27年度 静岡県砂防・治山連絡会議を開催

12月17日(木)に、砂防事業と治山事業が連携して効率的に事業を実施するため、砂防・治山連絡会議を県庁別館20階で開催しました。

会議には国土交通省中部地方整備局、静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、関東森林管理局、静岡森林管理署、伊豆森林管理署、天竜森林管理署、大井川治山センター、県砂防課、県森林保全課の担当者が出席し、来年度以降に事業実施を予定している箇所の事業調整を行いました。



お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の応募のお礼

6月1日～9月15日の間、県内の小中学生の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。なお、入選発表及び表彰式は平成28年3月を予定しています。



【応募状況】

部 門	小学生	中学生	計
絵 画	11	20	31
作 文	2	4	6
合 計	13	24	37

砂防および地すべり防止講習会のお知らせ

砂防および地すべり対策業務を担当する職員の実務並びに関連知識の習得を通じ、今後の円滑な業務の遂行に資するため、講習会が開催されます。

日 時：平成28年2月18日(木)・19日(金)
 会 場：砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー 利根
 参 加 費：5,000円 (テキスト代3,000円、受講費2,000円)
 主 催：一般社団法人 全国治水砂防協会 TEL (03)3261-8386
 問合せ先：全国治水砂防協会静岡県支部 TEL (054)221-3042



●支部活動予定

- 1月 19日(火) 静岡県砂防ボランティア協会総会および研修会(クーボール会館)
- 5月 26日(木) 静岡県支部役員会および第71回通常総会(静岡グランドホテル中島屋)
- 6月 1日(水)～7日(火) かけ崩れ防災週間(県内各市町)
- 1日(水)～30日(木) 土砂災害防止月間(県内各市町)
- 1日(水)～30日(木) 急傾斜地パトロール(県内各市町)
- 5日(日) 土砂災害に対する全国統一防災訓練(県内各市町)
- 6月中 みんなで防ごう土砂災害(青葉シンボルロード)
- 8月25日(木)～27日(土) 市町長等砂防関係事業県外視察(長崎県)
- 11月 15日(火) 砂防関係事業促進要望(議員会館等)
- 下旬 市町等砂防担当職員研修(静岡県内)

●協会本部活動予定

- 2月 18日(木)・19日(金) 第56回砂防および地すべり防止講習会(砂防会館)
- 5月 23日(月) 評議員会・参与会(砂防会館)
- 24日(火) 第80回通常総会(砂防会館)
- 10月 6日(木)・7日(金) 砂防現地視察と討論会(広島県)
- 11月 14日(月) 参与会(砂防会館)
- 15日(火) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)



【表紙写真】

新雪旭光に染まる(撮影地:十里木)

齋藤 勝宣さん(静岡県富士市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編 集 ・ 後 ・ 記

明けましておめでとうございます。

昨年は日本各地での火山噴火や関東・東北豪雨など数々の災害が発生し、自然災害の恐ろしさや砂防事業の重要性を痛感する一年でした。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご多幸を祈念いたしますとともに、本年も砂防だよりをご愛読いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>